

鹿野川ダム下流における 減勢工の保護カバーの流出について

令和3年5月31日に減勢工を保護するカバー※¹が流出していることを河川巡視において確認しました。

この流出による公的な被害は現時点で確認されていません。なお、当面のダム操作自体には支障はありません。

今後、早急に調査を実施し、損傷状況の把握・原因究明を行い再発防止策を検討します。

現場付近の、河川を利用されるかたは気をつけていただきたいと思います。その他、お気づきのことがありましたらお知らせ願います。

(詳細資料は添付資料のとおり)

※1 減勢工のコンクリートの摩耗を抑制するための保護カバー

〈問合せ先〉

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所

副 所 長 まつさか こうじ 松坂 幸二

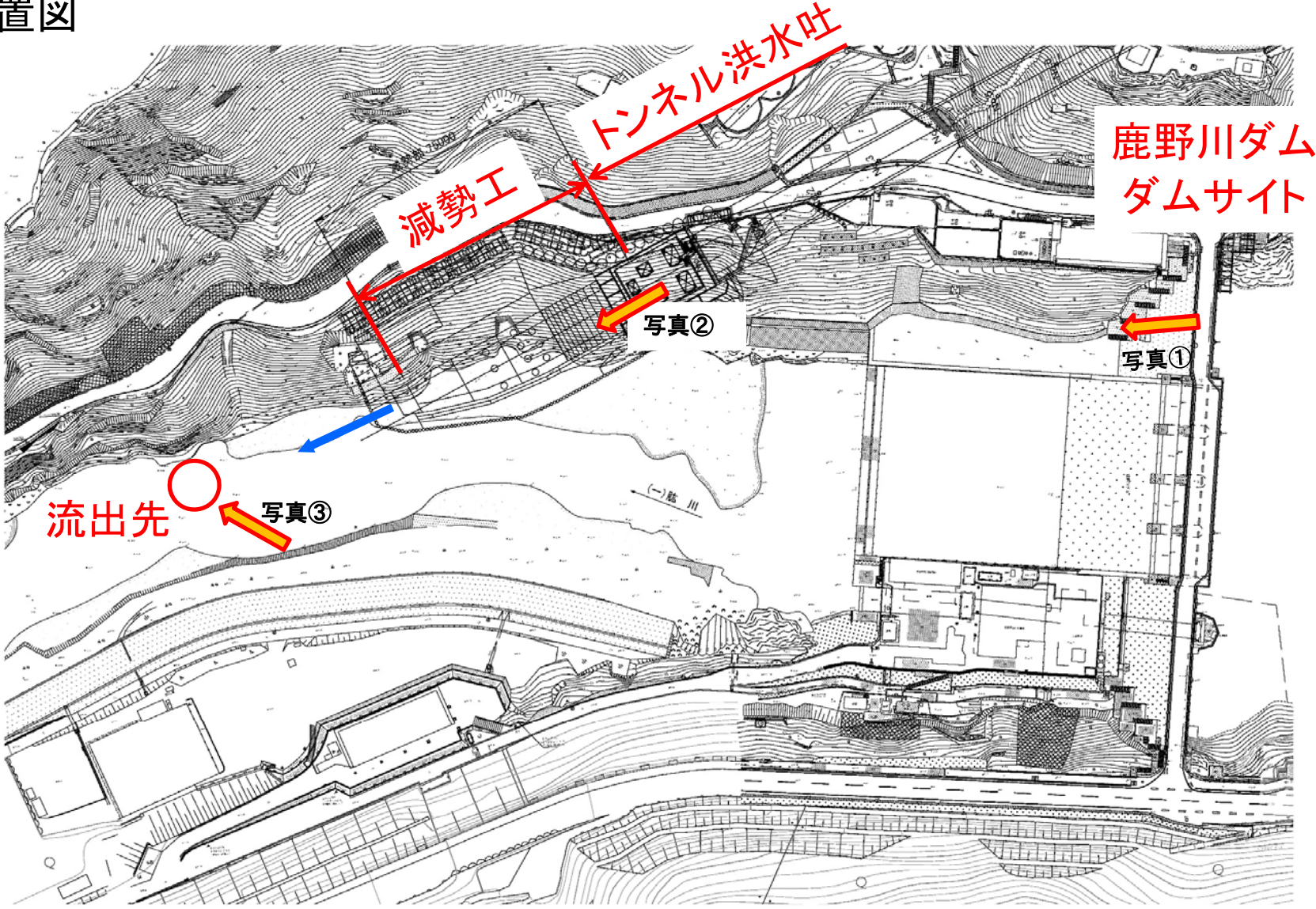
代表：(0894)-72-1211 (内線：204)

◎鹿野川ダム管理支所長 いのうえ ひろふみ 井上 博文

代表：(0893)-34-2350 (内線：6121)

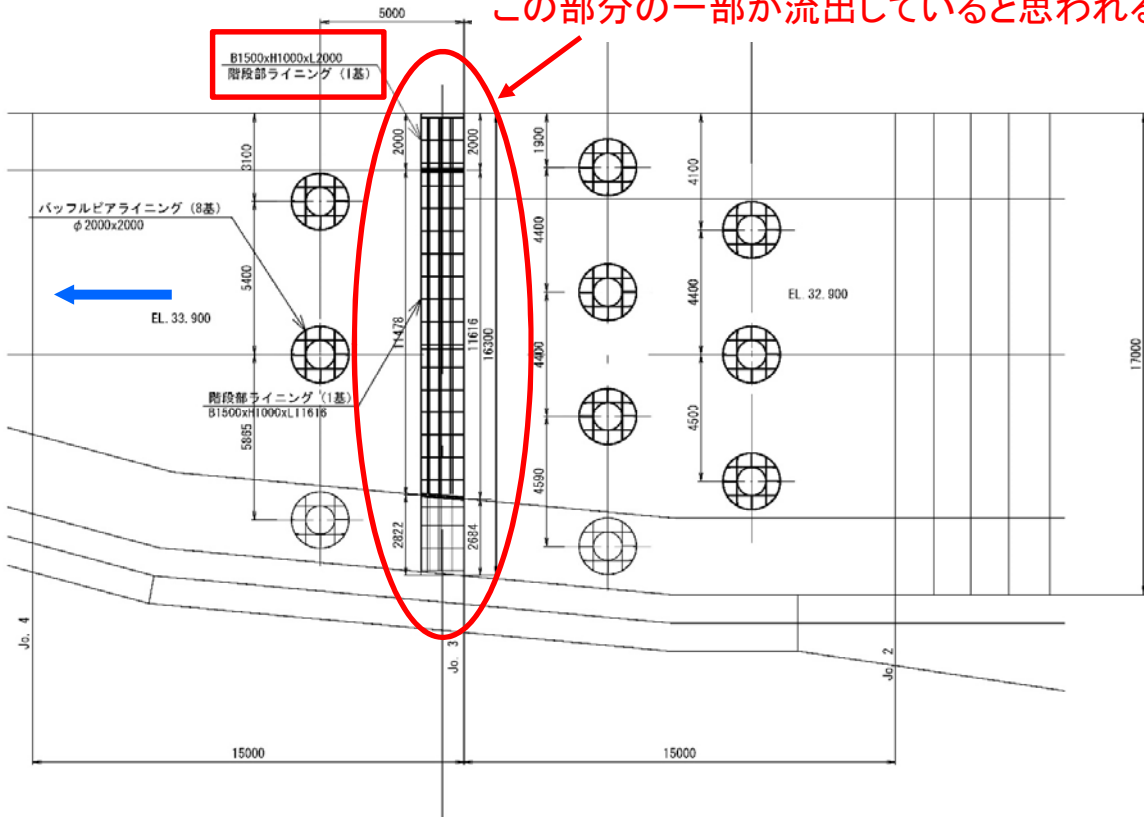
◎：主な問い合わせ先

位置図

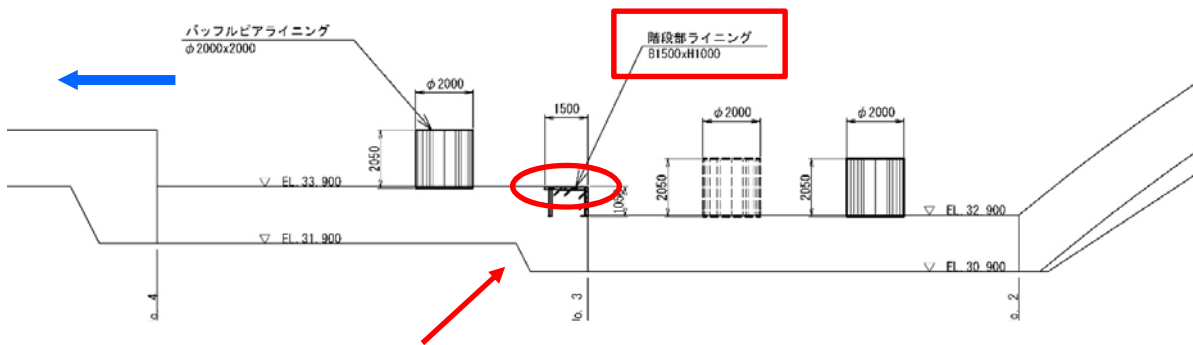


減勢工平面図

この部分の一部が流出していると思われる



減勢工断面図



この部分の一部が流出していると思われる

※減勢工内は、放流後で水没しているため、未確認。

減勢工 保護カバ一流出状況

写真①



写真②



写真③